



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

心を満たす

リハビリの実践に向けて

水島協同病院で退院支援に携わっている看護師へコープリハビリテーション病院・老健あかねの医療・介護活動について田辺次長が話をしました。

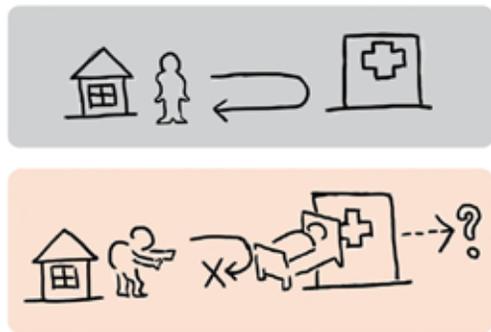


田辺次長の発表写真（水島協同病院 講堂）

「入院を契機に家へ戻れない時代」
かつては入院後も家に帰ることはできました。現在は入院に至った時点で「足腰が弱い」「認知症状がある」「独居」など、病気以外にも多くの課題があります。病気が治っても、長期の入院で寝たきりとなり、家に帰れない方が増えています。

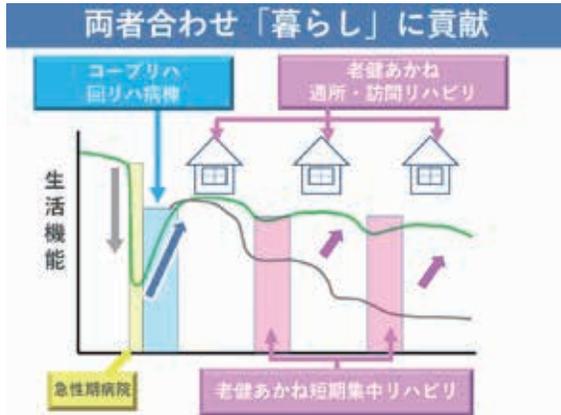
支援に関わる職員の方へ紹介しました。

これまでの医療は手詰まり



入院後に自宅へ戻れない場合も

「病状の重い軽いはあるけれど、まずは家を目指してやる気スイッチ」
急性期病院は長期入院を避けるためにも発症早期から患者さんを回復期棟へ紹介します。座ると血圧が下がる、

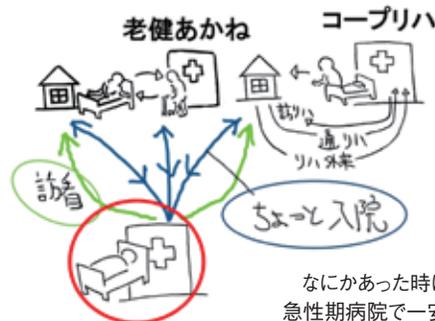


退院後のフォローがあってこそその自宅

鼻から胃にチューブが、尿が出ずにチューブが、など様々な課題を抱えて入院されてきます。どんな方でもまずは家を目指します。自宅へ行くとフワッと目が覚め、家族を見て言葉を発する。そんな力が入院中の回復に左右します。1-2ヶ月の入院期間はあっという間に経ち、1日1日がとても重要となります。

「残された課題は老健あかねで支え、不安を解消します」
なんとか家に帰ることが出来てもすぐに暮らせるわけではありません。そんなはずじゃなかったと思われたいためにも、退院後1ヶ月は訪問リハにて直近の困りごとを本人・ご家族と解決していきます。通所リハも併用し、一日の生活リズムを整え、訪問リハ終了後の課題も引き継ぎ、家での暮らしを支えます。

これからは、地域にこんな病院あったらいいです



なにかあった時は急性期病院で一安心

「ちょっと入院」し、病気を治してもらいます。それが「ずっと在宅」を続けるための肝になると考えます。あらゆる面で病院・施設・住まいの協力がより一層重要となります。

倉敷市にワクワクできる「通いの場」はありますが、参加をためらう方も少なくありません。そんな方こそ「健幸アツプ教室」へ参加し、人の交流を経て、通いの場に参加するのも悪くありません。

「地域全体で暮らしを支えるために」
一言で表すと「暮らす」は簡単ですが、実際の場面では一筋縄では行きません。一つの病院や施設だけで解決する時代は終わっており、新しい時代を支えるシステムが必要となっていきます。まだまだ発展途上ですが、やりがいのある内容であり、会議に参加された職員にもその思いは伝わったと思います。患者・家族の「暮らし」を支え、地域から信頼される事業所をこれからも目指していきます。

コープリハビリテーション病院
リハビリテーション科
佐藤 雅昭

「ワクワクゴールで寝たきり予防」
家に戻った後で最も心配な事は、食事やトイレに行けても、なにかワクワクするものがないと楽しくありません。

倉敷市ガイドブック

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

リハビリナース インターンシップ

昨年12月にソワニエ看護専門学校1年生7名を対象にインターンシップを実施しました。感染対策として、見学場所の限定や患者様との接触を最小限にするなどの注意を徹底しました。

今回脳卒中で入院中の患者様2名を事例対象とし、学生さんとミニカンファレンスを行いました。コロナ禍で病院実習の自粛に伴い、実際の患者様と接する機会が少なくこともあり、生活歴や病床上の苦悩など、患者様から語られる生の声を集中して聞かれています。

午後からの交流会では、参加された学生皆さんの職歴やどういった経緯で看護師を志したのかを聞き交流を深めました。毎回様々な経歴を持たれた方が多く驚かされています。

新型コロナウイルスという危機的状況は、私達現場で働く者にももちろんですが、勉学に勤しんでいる学生の方々にとっても大きな負担となつていっていると思います。この苦難を乗り越え、彼らが同じ医療従事者として現場で働ける日を切に願っています。

コープリハビリテーション病院
回りハ病棟 水畑 拓馬



看護学校1年生の皆さん（筆者：左から6人目）

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



ベッドからの起き上がりは自立の第一歩です

まるごとリハビリを 支えるスタッフ紹介

りながら、なんとか一日の仕事をごこなせるようになって思っています。

コープリハビリテーション病院
リハビリテーション科
理学療法士 大田 真子

こちらの事務課に入職し、気がつけば12月で2年目になりました。

私は今まで民間企業の事務職を長年務めており、経験は重ねてきましたが病院での事務は全く「別世界」という印象です。入職当初は周りの先輩方の業務内容や、処理方法、対応など、ほぼ理解できず、圧倒される毎日でした。1年経た今でも一日がとて早く過ぎています。

しかし、ありがたいことに、手厚い研修制度や上司や先輩方の指導や助けもあり、なんとか一年務めることができました。細かな業務にもマニュアルが用意されていたり、対応に困ることがあればすぐに相談もでき、毎日感謝しています。

そして、このコロナ禍の中でリハビリご利用者様や患者様にも接する際、「不安で家と病院しか行っていない」とおっしゃる方も多く、より気持ちの良い接遇を心がけ、少しでも安心して頂けるように心がけていきたい



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日9:00~16:30
土曜日9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室		
午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00	○	○
月			○	○	○	○
火	渡辺 (予約制)	(予約制)	○	○	○	○
水	川村		○	○	○	○
木	太田	(予約制)	○	○	○	○
金	飯塚		○	○	○	○
土				○	○	○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

です。2年目となり、今後はより計画性を持ち、丁寧で効率的な良い業務が出来るよう、医療・介護の知識を深めて参ります。事務作業に限らず、細やかな作業の積み重ねを怠らず誠実に取り組んでまいります。

老健あかね
事務課 尾崎 美穂



一人何役もこなさないといけないところが、他と違いますね

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。